

## 美学・美術史専攻（博士課程後期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

<b>人材育成の目的</b>	
美学・美術史専攻では、美学、芸術学、美術史学の諸分野を総合的かつ体系的に研究している。このような研究と芸術の鑑賞を通じて、鋭敏な感性と、歴史的コンテクストの中で本質をとらえる思考力を養い、それを基にした歴史認識によって、ますます多様化、複雑化する社会において、自律的な対応のできる人物を育てることを目的としている。	
<b>課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）</b>	
次の条件を満たした者には、当該課程を修了したことが認められる。	
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 美学・美術史の分野における博士課程前期の修了に必要な条件を満たした上で、一層高度な専門性を身につけ、自立した専門家として信頼される人材であること。</li> <li>(2) 独創的な知見をもって学界に寄与できること。</li> <li>(3) 学会などで日本国内の研究者等と交流することはもちろん、必要な場合には外国語を使用して、海外の研究者等とも交流し、自己の研究成果を内外に発信できること。</li> </ol>	
<b>教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）</b>	
課程の修了の認定に関する方針に示した能力を身につけるため、次の方針で教育課程を編成し、実施します。	
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学生の自律的研究能力を強化するため、授業は学生の研究発表と議論を主体としたゼミナール形式を基本とします。例えば、多様な専門領域に属する学生がともに学び、議論しあえる総合ゼミナールを設けます。</li> <li>(2) 授業では、発表能力の向上を目指すことはもちろん、発表後のディスカッションを通じて、他者の疑問を正確に把握し、的確に答える能力を養います。さらに他者の発表にも理解と関心をもち、有意義な質疑ができるようになることを目指します。</li> <li>(3) カリキュラム編成の基本原則として、学問的刺激に満ちた専門科目を提供します。並行して、指導教員による定期的な研究指導を行い、在学中の博士論文提出を促します。そのさい研究の客観化を促し、博士論文執筆の要件を明確化するため、一定数の審査付き媒体における発表を条件とします。</li> <li>(4) 個別の研究指導科目では、美学・諸芸術学・美術史関係の博士論文の作成に向けて、学生が自らのテーマに関する最先端の研究情勢を把握したうえで独創的な研究を遂行するように指導します。国内はもちろん、専門分野によっては海外での学会発表を行い、同世代の研究者の国際的なネットワークをもつように支援します。関連して、できるかぎり海外から客員教員を招聘し、英語による授業の機会を設けます。</li> <li>(5) 授業は研究指導を含め基本的にセメスター制とし、留学を容易にします。また、長期履修学生制度により、多様な学修形態を可能にします。</li> <li>(6) 必要に応じ、学芸員課程の履修を可能にし、学芸員資格を取得する機会を与えます。</li> </ol>	
<b>カリキュラムマップ</b>	
	到達の目標
	対応する修了の認定に関する方針の番号
a.	美学、演劇学、音楽学、映画学、日本美術史学、東洋美術史学、西洋美術史学など、美学・美術史専攻で学べる学問に関する専門的知識および方法論を修得する。
	(1) (2) (3)

## 美学・美術史専攻（博士課程後期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

b.	自律的研究能力を養い、自らの知見を他者に客観的かつ説得的に伝達するために必要な思考力と論理的な表現力を身につける。	(1) (2) (3)
c.	自律的研究能力を養い、国内外の学会発表を行うために必要な発表・議論する力を習得する。	(1) (2) (3)
d.	研究成果を論理的で的確な文章で伝える能力を養う。	(1) (2) (3)
e.	教育機関、文化行政機関、研究機関、その他専門知識を必要とする諸方面において、自らの学問的営為や成果を踏まえて、適切な活動を展開する能力を養う。	(1) (2) (3)

## 授業科目表（美学・美術史専攻 博士課程後期）

授業科目名	授業の方法	単位数	到達目標				
			a.	b.	c.	d.	e.
美学特殊研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
美学特殊研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
美学特殊研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
美学特殊研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
美学特殊研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
美学特殊研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
芸術特殊学研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
芸術特殊学研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
芸術特殊学研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
芸術特殊学研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
芸術特殊学研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
芸術特殊学研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
日本美術史特殊研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
日本美術史特殊研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
日本美術史特殊研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
日本美術史特殊研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
日本美術史特殊研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
日本美術史特殊研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史特殊研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史特殊研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史特殊研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
東洋美術史特殊研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史特殊研究ⅠA	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史特殊研究ⅠB	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史特殊研究ⅡA	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史特殊研究ⅡB	演習	2	○	○	○		○

## 美学・美術史専攻（博士課程後期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

授業科目名	授業の方法	単位数	到達目標				
			a.	b.	c.	d.	e.
西洋美術史特殊研究ⅢA	演習	2	○	○	○		○
西洋美術史特殊研究ⅢB	演習	2	○	○	○		○
比較美術史特殊研究 A	演習	2	○	○	○		○
比較美術史特殊研究 B	演習	2	○	○	○		○

研究指導	単位数	到達目標				
		a.	b.	c.	d.	e.
美学特殊研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
美学特殊研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
美学特殊研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
美学特殊研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
美学特殊研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
美学特殊研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
芸術学特殊研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
芸術学特殊研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
芸術学特殊研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
芸術学特殊研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
芸術学特殊研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
芸術学特殊研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
日本美術史特殊研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
日本美術史特殊研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
日本美術史特殊研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
日本美術史特殊研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
日本美術史特殊研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
日本美術史特殊研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○
東洋美術史特殊研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
東洋美術史特殊研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
東洋美術史特殊研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
東洋美術史特殊研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
西洋美術史特殊研究指導ⅠA	2	○	○	○	○	○
西洋美術史特殊研究指導ⅠB	2	○	○	○	○	○
西洋美術史特殊研究指導ⅡA	2	○	○	○	○	○
西洋美術史特殊研究指導ⅡB	2	○	○	○	○	○
西洋美術史特殊研究指導ⅢA	2	○	○	○	○	○
西洋美術史特殊研究指導ⅢB	2	○	○	○	○	○

## 美学・美術史専攻（博士課程後期）カリキュラムマップ（2022年度以降入学者用）

研究指導	単位数	到達目標				
		a.	b.	c.	d.	e.
比較美術史特殊研究指導 A	2	○	○	○	○	○
比較美術史特殊研究指導 B	2	○	○	○	○	○